

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第93期 (決算日2018年9月20日)

第94期 (決算日2018年10月22日)

第95期 (決算日2018年11月20日)

第96期 (決算日2018年12月20日)

第97期 (決算日2019年1月21日)

第98期 (決算日2019年2月20日)

作成対象期間 (2018年8月21日～2019年2月20日)

第98期末 (2019年2月20日)

基準価額	3,843円
純資産総額	718百万円
第93期～第98期	
騰落率	8.5%
分配金(税込み)合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース」は、2019年2月20日に第98期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

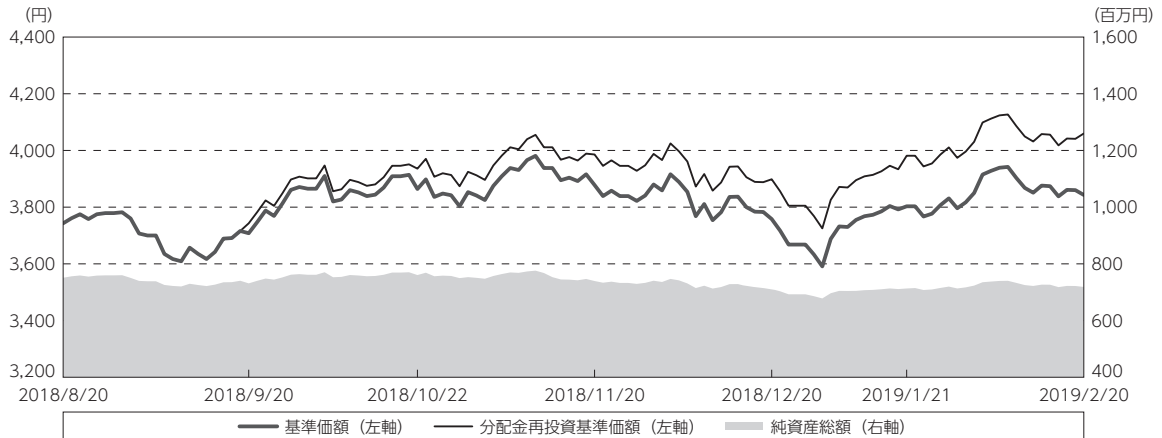
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年8月21日～2019年2月20日)



第93期首：3,743円

第98期末：3,843円 (既払分配金(税込み):210円)

騰落率：8.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年8月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、資源国通貨(ブラジルレアル・南アフリカランド・オーストラリアドル)買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・米国国債の金利が低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・新興国ハイ・イールド社債を中心に米国国債とのスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。
- ・ブラジルレアル、南アフリカランドが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年2月20日)

項 目	第93期～第98期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	21 円	0.561 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.163)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.381)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.611	
作成期間の平均基準価額は、3,795円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

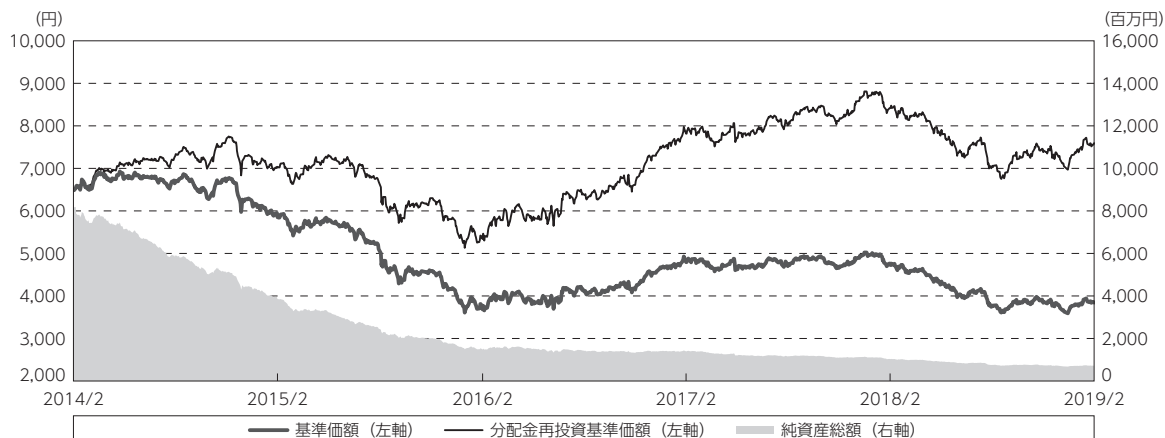
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年2月20日～2019年2月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2014年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日	2017年2月20日 決算日	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日
基準価額 (円)	6,487	5,852	3,683	4,795	4,729	3,843
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,200	900	490	420	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.4	△ 24.1	46.5	7.7	△ 9.7
純資産総額 (百万円)	8,169	3,856	1,480	1,395	1,030	718

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年8月21日～2019年2月20日)

(債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場は上昇しました。

米国では、米国連邦準備制度理事会（F R B）が利上げを継続するなかで、グローバルな経済減速懸念、米中の貿易摩擦、株価の急落などから「質への逃避」傾向が強まるなか、安全資産である米国国債が買われ金利が低下しました。その後、金融政策についてF R Bは利上げを休止し、経済動向に配慮する方針を明確にしました。

新興国資産は、原油価格の下落や中国の経済指標の悪化などによって軟調となる局面もありましたが、米国の金利が低下するなかで、それまでの下落から反発する形となりました。新興国社債市場も高利回り資産への需要の回復による恩恵を受け上昇しました。特に上昇が目立ったのは、それまでの下落が大きかったトルコや個別銘柄レベルでポジティブな話題が見られたジャマイカでした。セクター別で見ると、いずれのリターンもプラスとなりました。

(国内短期金利市況)

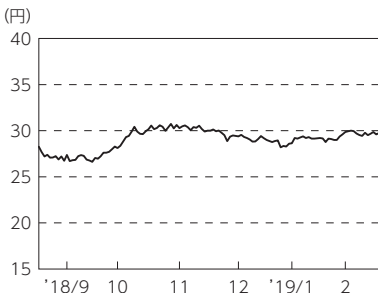
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

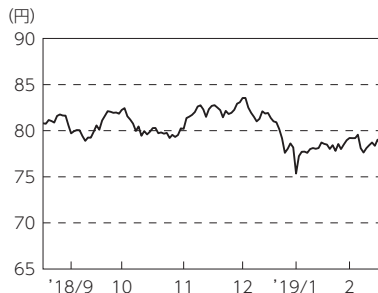
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

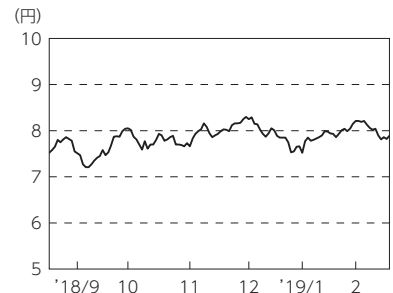
円／ブラジルレアルの推移



円／オーストラリアドルの推移



円／南アフリカランドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2018年8月21日～2019年2月20日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス)

当ファンドは、エネルギーセクターへの投資比率を高める一方で、工業セクターの投資比率を低くしました。国別ではアルゼンチンやトルコの投資比率を高め、ナイジェリアやメキシコの投資比率を低くしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年8月21日～2019年2月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年8月21日～2019年2月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第93期	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日	2018年12月21日～ 2019年1月21日	2019年1月22日～ 2019年2月20日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.935%	0.898%	0.894%	0.923%	0.912%	0.903%
当期の収益	25	28	27	25	27	27
当期の収益以外	9	6	7	9	7	7
翌期繰越分配対象額	2,361	2,355	2,347	2,337	2,330	2,323

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス)

今後のパフォーマンスの鍵を握る要因の一つとして、新興国と先進国市場の成長格差が挙げられます。先進国の成長率がやや鈍化する一方で、新興国の成長軌道は引き続き上向き傾向を維持するとみています。このような傾向は一般的に成長に敏感な新興国資産のパフォーマンスを押し上げる要因になるとされています。

また、新興国債券市場全体で価格評価が魅力的となっていることや、市場の需給面での魅力が増していることも、今後の新興国資産にとって良好な環境が続く可能性があることを示唆しています。米国の金融政策が緩和色を強めるなかで、新興国資産は一息つける状況になっており、投資家の新興国資産への視線は好転したと考えています。

予想される金融市場の主なリスク要因は、英国や欧州、米国などの先進国経済に起因する可能性が高いとみています。したがって、短中期的に、リスク調整後でみた新興国社債市場に対する前向きな見通しを維持します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

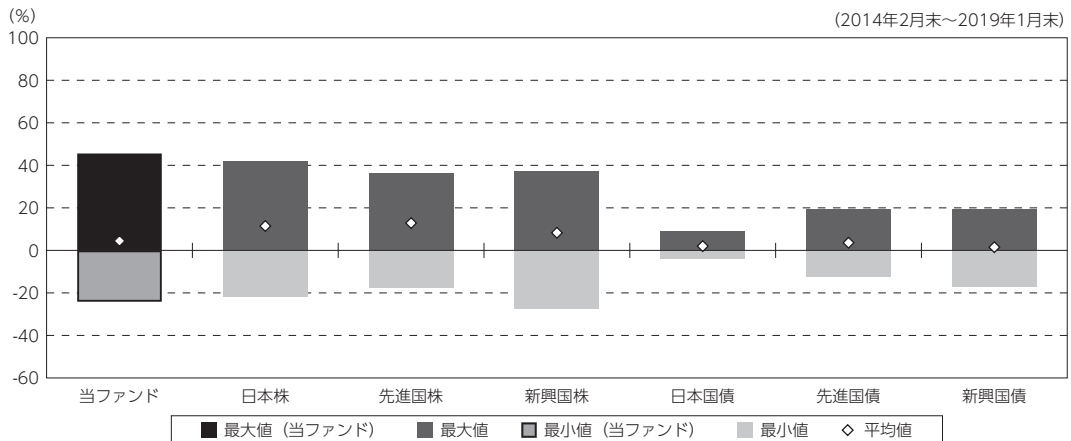
2018年8月21日から2019年2月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト J P Y ・ F Xバスケットクラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国（新興国）の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、資源国通貨（ブラジルレアル・南アフリカランド・オーストラリアドル）買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	45.6	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 24.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	4.4	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年2月20日現在)

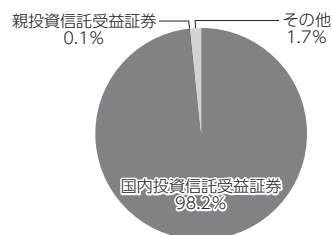
○組入上位ファンド

銘柄名	第98期末
	%
EMサブIG/ハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス	98.2
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

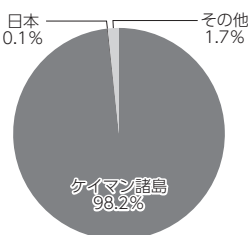
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

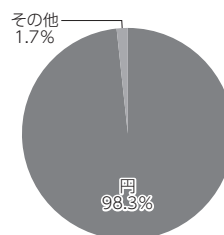
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末
	2018年9月20日	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日	2019年1月21日	2019年2月20日
純資産総額	731,164,983円	760,498,923円	739,425,973円	709,821,682円	713,125,363円	718,556,202円
受益権総口数	1,972,086,273口	1,968,041,226口	1,906,611,534口	1,888,999,417口	1,875,085,688口	1,869,916,050口
1万口当たり基準価額	3,708円	3,864円	3,878円	3,758円	3,803円	3,843円

(注) 当作成期間(第93期~第98期)中における追加設定元本額は30,608,573円、同解約元本額は166,751,972円です。

組入上位ファンドの概要

EMサブ I Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2017年7月1日～2018年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2018年6月30日現在)

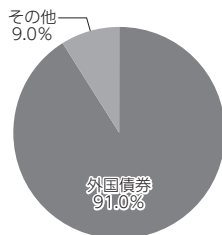
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	United States Treasury Note 1.25%	外国債券	アメリカドル	米国	6.7%
2	Agua y Saneamientos Argentinos SA 6.63%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	2.4%
3	VTR Finance BV 6.88%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.4%
4	Dianjian Haixing Ltd, VRB 4.05%	外国債券	アメリカドル	英領バージン諸島	2.2%
5	Citgo Holding Inc 10.75%	外国債券	アメリカドル	米国	2.2%
6	MCC Holding Hong Kong Corp Ltd, VRB 4.95%	外国債券	アメリカドル	香港	2.1%
7	United Bank for Africa Plc 7.75%	外国債券	アメリカドル	ナイジェリア	2.1%
8	Altice Financing SA 7.50%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	2.1%
9	Liquid Telecommunications Financing Plc 8.50%	外国債券	アメリカドル	英国	2.1%
10	Stoneway Capital Corp 10.00%	外国債券	アメリカドル	カナダ	2.1%
組入銘柄数			86銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

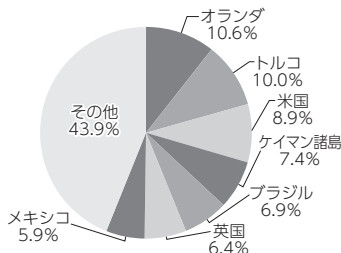
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

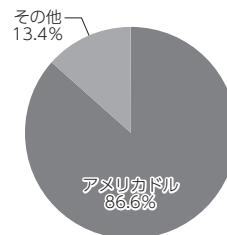
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



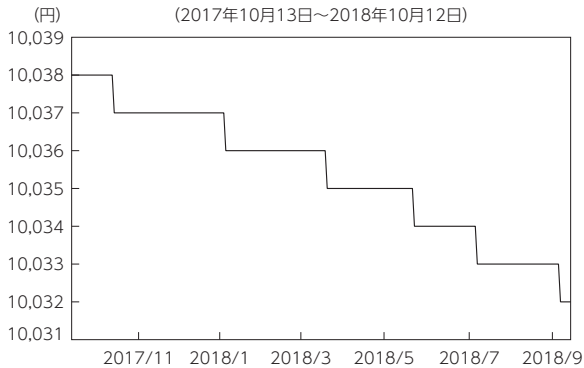
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年10月13日～2018年10月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.006 (0.006)
合 計	1	0.006

期中の平均基準価額は、10,035円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。